

## 研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成2年2月15日～3月31日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
コ ン ピ ュ ー タ と 教 育	2月15日(木)	13:00～17:00	機 械 振 興 会 館	前号参照
マ イ ク ロ コ ン ピ ュ ー タ と ワ ー ク ス テ ー シ ョ ン	2月20日(火)	13:00～17:00	同 上	同 上
設 計 自 動 化	2月20日(火)	9:50～17:00	同 上	同 上
オ ペ レ ー テ ィ ン グ ・ シ ス テ ム	2月23日(金)	13:10～16:50	同 上	同 上
グ ラ フ ィ ク ス と C A D	2月23日(金)	10:00～17:00	同 上	同 上
自 然 言 語 処 理	3月9日(金)	10:00～17:55	阪 大	下 記 参 照
ヒ ュ ー マ ン イ ン タ フ ェ ー ス	3月9日(金)	13:10～17:30	A T R	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 基 礎 論	3月9日(金)	13:00～16:00	機 械 振 興 会 館	同 上
人 文 科 学 と コ ン ピ ュ ー タ	3月9日(金)	10:00～17:00	東 京 国 立 博 物 館	同 上
デ ー タ ベ ー ス ・ シ ス テ ム	3月12日(月)	10:30～16:30	機 械 振 興 会 館	同 上
記 号 処 理	3月12日(月)	13:00～17:30	電 総 研	同 上
ア ル ゴ リ ズ ム	3月12日(月)	13:00～17:00	三 菱 電 機	同 上
数 値 解 析	3月17日(土)	10:00～15:30	統 計 数 理 研	同 上
情 報 シ ス テ ム	3月20日(火)	10:00～17:15	慶 大	同 上
知 識 工 学 と 人 工 知 能	3月22日(木)	10:15～17:00	機 械 振 興 会 館	同 上
計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	3月23日(金)	14:30～17:00	同 上	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	3月27日(火)	10:00～16:30	同 上	同 上

### ◆ 第76回 自然言語処理研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 田中穂積, 幹事: 田中裕一, 徳永健伸, 内藤昭三)

日 時 平成2年3月9日(金) 10:00～17:55

会 場 大阪大学 言語文化部 大会議室

(豊中市待兼山町 1-1, JR: 大阪下車, 阪急宝塚線: 石橋下車, 徒歩 15分, または蛍が池下車, バス: 北千里行 10分. Tel. 06 (844) 1151)

—10:00～12:00—

#### 議 題

- (1) 単一化に基づく枠組みにおける日本語対話文解析用文法の記述とその計算的側面

永田昌明, 久米雅子, 小暮 潔 (ATR)

(概要) 単一化文法に基づいて記述された日本語対話文解析用の文法の概要と, 文法解釈時の計算量について述べる。

- (2) 句構造文法に対する効率的解析法

林 達也, 宮 俊司, 坂巻利哉, 吉田健一 (富士通研)

〔概要〕 限定文脈依存文法 (RCSG) を受け入れる従来の YAPXR システムを拡張することによって、一般の句構造文脈依存に対しても効率的な解析が行えることを示す。

(3) 論理文法におけるギャップの扱い 徳永健伸, 岩山 真, 田中穂積 (東工大)

〔概要〕 長距離依存構造が扱いやすくなるように DCG を拡張した。その枠組と Prolog による実現について述べる。

—13:00~17:55—

(4) 日本語文の構造に関する一考察

中垣寿平 (富士ゼロックス), 水野順子 (富士ゼロックス情報システム)

〔概要〕 日本語の文の構造を、発語構造、内部構造、接続構造の3つの面で捉え、それを踏まえた構文解析方法を論ずる。

(5) タイプ付素性構造を用いた生成過程の宣言的制御 上田良寛, 小暮 潔 (ATR)

〔概要〕 タイプ付素性構造を利用して、生成におけるルールの適用を宣言的に記述する方法について述べる。

(6) いろいろな文脈に応じた文章の生成 李 航, 長尾 真 (京大)

〔概要〕 いろいろな文脈におけるいろいろなバリエーションの文章を生成するためのメカニズムを提案する。

(7) Local Cohesive Knowledge 工藤育男 (ATR)

〔概要〕 結束性に着目した会話文翻訳のための文脈処理機構について述べる。

(8) システム編集部における言語処理 成田 一 (阪大)

〔概要〕 主要システムの処理能力の検証を踏まえ、文体処理など編集部が分担すべき言語処理を具体的に検討する。

(9) 動的シソーラスを用いた連想検索 巖寺俊哲, 木本晴夫 (NTT)

〔概要〕 利用者の検索要求を反映する動的シソーラスを用いて文書 DB を検索する方法とその評価結果を報告する。

(10) 情報の授受に着目した対話の構造解析 柏岡秀紀, 土井敦子, 平井 誠, 北橋忠宏 (阪大)

〔概要〕 対話において対話参加者の事象の既知を推定し情報の授受を認識する。この情報に基づき構造の解析を行う。

## ◆ 第29回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 角田博保, 黒須正明, 小橋史彦)

日 時 平成2年3月9日(金) 13:10~17:30

会 場 ATR視聴覚機構研究所

(京都府相楽郡精華町乾谷・三平谷, 近鉄京都線: 高の原下車, ATRバス(駅前バスロータリー・11:38, 12:38 発)で20分, またはタクシー15分。Tel. 07749 (5) 1411)

—13:10~16:40—

### 議 題

(1) A Design of Malay Word Processor

R. B. Fakeh, M. Yoneda, H. Hase, M. Sakai (Toyama Univ.)

〔概要〕 マレーシアで使われている JAWI 文字用のワードプロセッサを目的として、その入力方式について検討した。

(2) 打鍵速度制御型タイピング教育システム一有効性の検討一

村田俊和, 竹田尚彦, 河合和久, 大岩 元 (豊橋技科大)

〔概要〕 打鍵速度制御型タイピング教育システムの有効性を検討するため、学習者の打鍵データを分析した。

(3) 文書情報の蓄積検索システムに関する検討 宮原末治, 鈴木 章, 多田俊吉, 壁谷善義 (NTT)

〔概要〕 文書情報を文字認識して蓄積し、自然言語によって検索整理するフルテキスト形の蓄積検索システムについて検討した。

(4) 発散的思考の計算機支援 渡部 勇 (富士通)

〔概要〕 人間の発散的思考を支援するための、計算機による情報の選択・提示技術について考察を行った。

(5) 複合グラフ描画における全体と詳細を同時に見せる遠近画法 三末和男, 杉山公造 (富士通)

〔概要〕 限られたサイズの画面上で、複合グラフの全体構造と部分の詳細を1枚の図で同時に表現する方法を提案する。

—16:50~17:30—

見学 ①ATR視聴覚機構研究所

②ATR通信システム研究所 (仮想会議臨場感システム)

### ◆ 第34回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 佐藤雅彦, 幹事: 柴山悦哉, 田中二郎, 萩野達也)

日 時 平成2年3月9日(金) 13:00~16:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室

(東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211)

#### 議 題

(1) 対象物一関係指向的プログラミング環境における自己記述からのシステム生成 間野暢興 (電総研)

〔概要〕 モデル上で対象プログラムの設計生成を行う知的環境の、自己記述からのシステムプログラム生成について述べる。

(2) A new head-normalization algorithm for  $\lambda$ -calculus 野口憲一 (東工大)

〔概要〕  $\lambda$ -calculus の新しい head-normalization のアルゴリズムに関して述べる。

(3) モデル推論による制約付き再帰的図形の学習 劉 樹苓 (京大)

〔概要〕 モデル推論の方法を使って、制約付き再帰的図形を学習することを考える。学習する時には、図形を認識する Constraint Logic Program (CLP(G)) を生成する。

(4) ハイパーテキストを用いたユーザ・インタフェースの形式的記述

富永浩之, 中島玲二, 新出尚之 (京大), 鈴木 隆 (京都高度技術研)

〔概要〕 知識体系を構造化されたハイパーテキストと捉え、情報検索その他のユーザ・インタフェースを形式的に記述する。

### ◆ 第4回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 杉田繁治, 幹事: 及川昭文, 小沢一雅, 洪 政国)

日 時 平成2年3月9日(金) 10:00~17:00

会 場 東京国立博物館 小講堂

(東京都台東区上野公園 13-9, JR: 上野下車, 徒歩7分, または京成線: 博物館動物園下車, 徒歩2分.

Tel. 03 (822) 1111)

—10:00~12:00—

#### 議 題

(1) 地方博物館における情報処理の現状と課題 高見俊樹 (諏訪市教育委員会)

〔概要〕 予算や要員がほとんど考慮されていない地方の小さな博物館における情報処理の現状と課題について述べる。

(2) 川崎市市民ミュージアムのコンピュータ利用の現状と課題—アクセス例からの映像データベース利用研究

濱崎好治 (川崎市市民ミュージアム)

〔概要〕 情報の相互利用に伴う問題発生とアクセス側からの情報形態のあり方について、映像による情報化の現場報告

(3) 美術情報検索と画像処理システムの構築 鯨井秀伸 (MOA 美術館)

〔概要〕 美術情報のデータベース化とその検索・画像処理システムの発展的構築 (ARS ver 1.0 について)

—14:00~17:00—

- (4) 博物館資料データ形成のいくつかの問題 八重樫純樹 (歴博)  
〔概要〕 博物館資料は過去に遡る様々、あるいはすべての人間活動痕跡の遺物である。そのデータ化は根源的課題を含む。
- (5) 博物館資料の整理と活用におけるコンピュータの役割 宇治谷恵 (民博)  
〔概要〕 博物館における資料の整理や活用に伴うコンピュータの役割を紹介するとともに、問題点や将来の課題を考察する。
- (6) 全国文化財情報システムについて 原田 拓 (東京国立博物館)  
〔概要〕 文化財情報に関する全国ネットワークシステムの調査研究の状況と今後の課題等について

◆ 第76回 データベース・システム研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 牧之内顕文, 幹事: 大里博志, 清木 康, 佐藤和洋)

日 時 平成2年3月12日(月) 10:30~16:30  
会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

—10:30~12:00—

議 題

- (1) A New Realization for Parallel Data Base Machines with its Performance Model  
Issam A. Hamid, 白鳥則郎, 野口正一 (東北大)  
〔概要〕 並列データベースマシンの新しい構成モデルを提案し、同時に、その性能評価について検討する。
- (2) ファジィデータベースのためのデータモデルの提案について  
阿部博信, 小高俊之, 横山光男, 松下 温 (慶大)  
〔概要〕 ファジィデータベースのデータモデルに関して、従来の方法に比べてより柔軟に表現可能な方法を提案した。

—13:30~16:30—

特集: データベースと CASE

- (3) データベース技術とソフトウェア技術 落水浩一郎 (静岡大)  
〔概要〕 CASE ツール, プロセスモデル等の最新のソフトウェア技術とデータベースの関連をまとめ今後の動向を述べる。
- (4) 統合 CASE 実現のためのデータ層の統合について 岩田誠司, 岡安二郎, 松村一夫 (東芝)  
〔概要〕 CASE ツール統合化のための枠組として7階層のモデルを提案し、その中のデータ層の統合について議論する。
- (5) ソフト開発環境における情報管理について 岸 知二 (日電)  
〔概要〕 ソフト開発の立場から望まれる情報管理のあり方を、作業形態などに照らして議論する。
- (6) ADABAS ENTIRE を用いた意味論データベースの構築と CASE のリポジトリ  
末舛史郎, 山谷 茂 (ソフトウェアエージェンシー)  
〔概要〕 CASE を「工業製品の生産管理と AUTOMATION」に対応する技術と捉え、プログラムの生産管理システム構築のための情報データベースはどうあるべきかを考察する。

◆ 第56回 記号処理研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 中西正和, 幹事: 小谷善行, 多田好克)

日 時 平成2年3月12日(月) 13:00~17:30  
会 場 電子技術総合研究所 D棟 8階 中会議室

(つくば市梅園 1-1-4, JR(常磐線): 荒川沖下車, 関東鉄道バス(東口): 筑波大学中央行きで並木2丁目下車, 徒歩5分, または東京駅八重洲(南口)より常磐高速バス, 並木大橋下車. Tel. 0298 (58) 5914)

## 議 題

- (1) 楽譜エディタ emucom の使い勝手 高田正之, 渡邊哲史, 小谷善行 (農工大)  
〔概要〕 音楽研究環境として作成した楽譜エディタに関しキー配置や命令の感想を収集し, 使い勝手の因子を解析した。
- (2) スーパーコンピュータのためのベクトル化 Lisp コンパイラ 阿部一裕, 安井 裕 (阪大)  
〔概要〕 スーパーコンピュータのベクトル演算機能を用いて Lisp プログラムを並列実行する方式と, その効果について述べる。
- (3) LISP プログラムの図式表現 VEX 大島義光 (日立)  
〔概要〕 箱による関数表現, 枠によるブロック構造の表現を特長とする Common LISP の図式表現法を提案する。
- (4) S式のための文字画面用インタフェース 湯浅 敬 (松下電器)  
〔概要〕 リストの任意の要素に焦点をおいて表示する S式用インタフェース List Window の実装と応用を述べる。
- (5) 関数型言語による論理プログラムの記述 今泉正雄, 寺島元章 (電通大)  
〔概要〕 Pure-Prolog のプログラムを関数型言語に変換する手法と, これら 2 種言語の融合問題について論じる。

## ◆ 第 14 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 野崎昭弘, 幹事: 西関隆夫, 中村勝洋, 今井 浩)

日 時 平成 2 年 3 月 12 日 (月) 13:00~17:00

会 場 三菱電機 第 1 SE センター 金融システム部 セミナールーム

(東京都品川区西五反田 7-10-4, JR: 五反田下車 (改札右出口), 徒歩約 10 分 Tel. 03 (5487) 4545)

## 議 題

- (1) 区間和を効率よく求めるアルゴリズム 中野浩嗣, 増澤利光, 都倉信樹 (阪大)  
〔概要〕  $a_0, \dots, a_{n-1}$  に  $O(n)$  時間の前処理を行えば, 区間  $[i, j]$  に対して  $a_i + a_{i+1} + \dots + a_j$  が  $O(\log \log n)$  時間で求まる。
- (2) 平面グラフでスタイナー林を求める並列アルゴリズム 鈴木 均, 山中智勢子, 西関隆夫 (東北大)  
〔概要〕 平面グラフの外周上にだけ端子がある場合に, スタイナー林を求める効率の良い PRAM 上のアルゴリズムを与える。
- (3) トポロジカル情報の処理アルゴリズムに関する研究のための環境の開発 河嶋一郎, 鈴木結子, 西本克典, 沖田昌也, 桑原潤子, 富樫正明, 萩原洋一, 中森眞理雄 (農工大)  
〔概要〕 グラフや 2 次元複体の位相的性質を調べるアルゴリズムを研究するための対話システムを試作した報告である。
- (4) 単純多角形と凸包の交差部分を求める並列アルゴリズム 陳 慰, 中野浩嗣, 増澤利光, 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)  
〔概要〕 単純多角形と凸包の交差部分を求める  $n$  プロセッサ,  $O(\log n)$  時間の並列アルゴリズムを提案する。
- (5) Upper Envelope Onion Peeling John Hershberger (DEC Systems Research Center)  
〔概要〕  $n$  本の線分を上側エンベロープを求めてはのぞくという操作でランク付けるアルゴリズムを与える。
- (6) SODA の報告 (予稿無し) 西関隆夫 (東北大)  
〔概要〕 1990 年 1 月にサンフランシスコで開催された第 1 回 ACM-SIAM Symposium on Discrete Algorithms の報告をする。

◆ 第32回 数値解析研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 名取 亮, 幹事: 関口智嗣, 野寺 隆, 福井義成)

日 時 平成2年3月17日(土) 10:00~15:30

会 場 統計数理研究所 3階 セミナー室

(東京都港区南麻布 4-6-7, 地下鉄: 日比谷線広尾下車, 徒歩5分. Tel. 03 (446) 1501)

—10:00~12:00—

議 題

(1) ファジィ数の演算シミュレータ 広田豊彦, 矢島虎夫(九工大)

〔概要〕 ファジィ数の演算シミュレータを作成し, 実験を行った. その結果ファジィ数の表現に関する問題点が明らかになった.

(2) FORTRAN のための精度拡張サブルーチン 平山 弘(神奈川工科大)

〔概要〕 フォートランで作成した仮数部, 指数部を拡張する浮動小数点演算ルーチンの基本機能について述べる.

—13:30~15:30—

(3) 多倍長数の除算を高速に行う方法— $O(n^2)$  のアルゴリズムに関して—

小沢一文, 海野啓明(仙台電波高専)

〔概要〕 多倍長浮動小数点数の除算を  $O(n^2)$  のアルゴリズムを用いて  $O(n^2)$  の乗算と同程度に高速化する方法について述べる.

(4) 自由電子レーザーの3次元シミュレーション 中村 剛(電総研)

〔概要〕 表題の解析プログラムを CRAY 上で開発. FFT, PIC, 予測子一修正子法などを利用した. その概略について述べる.

◆ 第28回 情報システム研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 伊吹公夫, 幹事: 鷹野 澄, 槻木公一, 西原良一)

日 時 平成2年3月20日(火) 10:00~17:15

会 場 慶應義塾大学 日吉情報センター AV ホール 地下1階

(横浜市港北区日吉 3-14-1, 東横線: 日吉下車(東口), 徒歩3分. Tel. 044 (63) 1141)

—10:00~12:15—

議 題 特集: グローバリゼーションと情報システム

(1) 国際化とグローバリゼーション 豊口一美(全日本空輸)

〔概要〕 世界的な航空業界の自由化, 規制緩和に伴う競争の激化とこれに対応する戦略情報システムの動向について.

(2) MBK グローバルシステムの基盤 大西謙治(三井物産)

〔概要〕 全世界を相手とする商社活動の高度化とそれを支える情報システムの基盤作りについて, 実態と考え方を述べる.

(3) 証券業の情報システム国際化 小林諒一(野村総合研究所)

〔概要〕 世界の金融資本市場の自由化, 国際化の進展に伴う情報システムネットワークの国際化の現状と今後の展望.

—13:15~17:15—

(4) 研究者のための電子メール・システム 清水則之(日本IBM)

〔概要〕 国際間で研究者の研究活動を支援する電子メール・システムについて, その現状を, 実例を挙げて解説する.

(5) NEC海外向電子交換機のドキュメント・グローバリゼーション 傍嶋清臣(日本電気通信システム)

〔概要〕 海外現地法人との共同による海外向電子交換機のマニュアル設計, 製造, 管理技術のシステム化を報告する.

- (6) 新聞情報のグローバルネットワーク 山田善幸 (朝日新聞)  
 [概要] 国の内外から情報を集めて作った新聞を衛星経由の海外版として北米と欧州でも発行している現状を紹介する。
- (7) 国際複合一貫性輸送におけるオンラインネットワーク構築 松尾正行 (商船三井システムズ)  
 [概要] 東南ア-日本-北米に亘るリアルタイムネットワークを構築・運用する商船三井の現状と最近の動向を紹介する。
- (8) 海外合弁企業での情報システム化の課題 吉永光男 (東レシステムセンター)  
 [概要] 東南アジア地区合弁企業の情報システム化を中心に、国内でのシステム化と比較し、課題と対策を展望する。

## ◆ 第69回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 諏訪 基, 幹事: 中島秀之, 西田豊明, 原口 誠)

日時 平成2年3月22日(木) 10:15~17:00  
 会場 機械振興会館 地下3階 研修1号室 (所在地は前記参照)  
 —10:15~11:45—

## 議 題

- (1) ソフトウェア・カルチャーに基づく部品検索 小池英樹, 広瀬通孝, 石井威望 (東大)  
 [概要] ソフトウェア部品をその名前付け規則に関する知識に基づいて検索するシステムを開発した。
- (2) 部品合成による日本語からの Lisp 関数自動生成 水野良彦, 重永 実 (山梨大)  
 [概要] 日本語で記述された仕様から、既にあるプログラム断片である部品を運用して Lisp 関数を自動的に生成する。

—13:00~17:00—

- (3) ニューラルネットによる構造活性相関 青山智夫 (日立CE)  
 [概要] ニューラルネットワークを用いて薬理活性を計算する方法を示す。
- (4) 事例に基づく知識の表現形式の学習の試み 松原 仁 (電総研)  
 [概要] 事例の蓄積によって知識の表現形式を少しずつ組み直していくシステムの基本的な考え方について述べる。
- (5) 事例を用いた法的推論とその並列化 新田克己 (ICOT)  
 [概要] 過去の判決を参考事例として判決予測や論理構築を行う方法を述べ、並列論理型言語 KL1 による実現法を説明する。
- (6) エピソードネットワークを用いた物語のあらすじ生成 中澤俊哉, 重永 実 (山梨大)  
 [概要] エピソードネットワークの連結状態やリンクの種類により重要なノードを抽出し、物語のあらすじを生成する。
- (7) 例文からの動詞的概念の学習 岡田和久, 高田正之, 小谷善行 (農工大)  
 [概要] 物語文を入力し、動作の深層格などの出現回数を抽出することで、動詞的概念を学習する。

## ◆ 第73回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 田中英彦, 幹事: 後藤厚宏, 長谷川隆三, 横田 実)

日時 平成2年3月23日(金) 14:30~17:00  
 会場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)  
 議 題

- (1) A general solution for the optimal mapping problem on bounded degree graph  
 Issam A. Hamid, 白鳥則郎, 野口正一 (東北大)  
 [概要] グラフ表現で与えられたアプリケーションのベネス相互接続網への最適なマッピングについて検討する。

(2) 知識ベース指向並列処理システム 横田治夫, 北上 始, 服部 彰 (富士通研)  
〔概要〕 知識検索とその知識を使った推論を各々並列に行うシステムの構成と試作システムによる実験結果について報告する。

(3) 並列論理型言語 KL1 の抽象機械語の改良 平野喜芳 (富士通 SSL), 後藤厚宏 (ICOT)  
〔概要〕 並列推論マシン PIM で使用する抽象機械語 KL1-B の改良を行い, その評価を行ったので報告する。

#### ◆ 第 65 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 鳥脇純一郎, 幹事: 大田友一, 田島譲二)

日 時 平成 2 年 3 月 27 日 (火) 10:00~16:30

会 場 機械振興会館 地下 3 階 研修 1 号室 (所在地は前記参照)

—10:00~12:00—

#### 議 題

(1) 線図形の特徴点検出の一手法とその応用 山田啓一 (東芝)

〔概要〕 輪郭線図形から, 角の点及び正接点を検出する一手法を提案し, その応用について述べる。

(2) 画像処理とファジィ理論による視覚制御システム 鎌田 洋, 直井 聡, 後藤敏行 (富士通研)

〔概要〕 カラー画像処理とファジィ理論により路上の対象物に沿い移動車を無人走行させる視覚制御システムを述べる。

(3) 平面の検出による室内の復元と認識 星野准一, 植村哲也, 増田 功 (セコム)

〔概要〕 室内の基本的な枠組みを構成する平面を検出することにより, 安定した 3 次元復元を行う手法を提案する。

—13:00~16:30—

(4) 3 次元並進とステレオの計算射影幾何学 川島孝夫, 金谷健一 (群馬大)

〔概要〕 物体またはカメラの並進によって 3 次元情報を抽出する方法を計算射影幾何学の立場から統一的に定式化する。

(5) 3 次元回転の最良推定と画像のマッチングへの応用 金谷健一, 小川克幸 (群馬大)

〔概要〕 特徴点の誤差のある位置データから 3 次元回転を最もよく推定する計算手法をまとめて, 画像のマッチングへ応用する。

(6) アニージング法を用いた距離画像からの超 2 次曲面記述の抽出

金田正久 (日立電線), 横矢直和, 山本和彦 (電総研)

〔概要〕 距離画像から物体の超 2 次曲面記述を抽出するための確率的アプローチについて述べる。

(7) オプティカルフローを用いた微小移動物体の検出 平位隆史 (三菱電機)

〔概要〕 オプティカルフローに新しい解釈を加えることにより, 微小移動物体を検出する方法を提案する。

(8) Color constancy 問題へのロボットビジョン向きアプローチ 塚田正人, 大田友一 (筑波大)

〔概要〕 過去の情報を正確に記憶できるというロボットの特性を生かした, 色の恒常性問題への一解法を述べる。



#### ◆ 音楽情報科学研究グループ

今後の活動予定は以下のとおりです。奮ってご参加ください。

4 月 21 日 (土) 13:00~16:00, 東工大 80 年記念会館 会議室

6 月 (日時・会場未定)

8 月 31 日 (金)~9 月 2 日 (日) (東京, 合宿形式)

\*本研究グループに関するお問合せは下記までお願いします。

平田圭二 NTTソフトウェア研 Tel. 0422 (59) 2537 (直通)



## ◆ ソフトウェア工学研究会

ソフトウェア工学研究会では、平成2年度前半の研究会開催を次のように予定しています。多数の発表をお待ちしています。発表をご希望の方は申込締切りに注意され、研究会発表申込書（本欄末添付）に発表題目と発表者名、50字以内の概要をご記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申し込みください。

5月29日（火）機械振興会館 発表申込締切り 2月26日（月）  
 7月20日（金）弘前大学 “ 4月9日（月）  
 9月11日（火）機械振興会館 “ 5月28日（月）

## ◆ コンピュータと教育研究会

4月開催予定の研究会（電子情報通信学会、人工知能学会、CAI学会、日本教育工学会と共催）の日程を、会場の都合で、4月21日（土）から4月25日（水）、26日（木）の2日間に変更します。

開催場所は当初の予定どおり機械振興会館です。

## ◆ 情報システム研究会

第29回研究会を下記のとおり開催いたします。多くの方の発表をお待ちしております。奮ってご応募ください。

発表をご希望の方は、研究会発表申込書に発表題目と発表者名、50字以内の概要をご記入のうえ、2月26日（月）までに学会事務局研究会担当までお申し込みください。

日 時 平成2年5月15日（火）13:00～（予定）

会 場 工学院大学（予定）

特 集 情報システムにおけるユーザインタフェース

トピックス：情報システムにおける人間と機械あるいは人間と人間の間のインタフェースの課題、具体的な事例と評価など。

キーワード：ユーザインタフェース、マンマシンインタフェース、ビジュアルインタフェース、自然語や音声の入力/出力、インテリジェント化、AIの応用、ファジー応用、プレゼンテーション技法、マニュアル書法など。

---

## 平成2年度会費および論文誌・欧文誌購読費の納入について

前号本欄でお知らせしたとおり、平成2年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を1月下旬に発送いたしましたので、納入かたよろしく願い申し上げます。（会費、購読費は元年度と同じで据置き。）

会 費	正会員 9,600 円	学生会員 4,800 円（大学院修士課程まで）
購読費	論文誌 4,500 円	欧文誌 3,000 円

申すまでもありませんが、会費は前納を建て前としておりますので、3月末までに率先して納入いただきたく存じます。

なお、「論文誌」（月刊）および「欧文誌」（季刊）は有料頒布です。まだ購読されていない会員は本年から購読されることをお勧めします。新規購読希望の方はその旨振替用紙通信欄にご記入くださるか、本欄添付の購読申込書によりお申込みください。

〔自動振替納入利用の会員へ〕

会費および購読費を3月27日に振替えますので、その前に預金残高を確認いただき、振替不足にならぬようにご留意ください。なお、振替金額は3月上旬にご通知いたします。振替えされた場合には預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」または「コウザフリカエ」と印字されますのでご確認ください。

## 平成2年度役員選挙について

本会定款第20条にもとづき、来る5月16日(水)開催の第32回通常総会をもって本会役員の半数が退任されます。したがって平成2年度の役員選挙は、2月中旬に別途送付される投票用紙(往復はがき)により行われます。正会員各位は下記の要領により、同投票用紙にてもれなく投票をお願いいたします。

投票用紙記載の候補者は、有権者の参考に供するために、本会理事会が推薦したものです。これらの候補者の中から選定される場合は、下記の候補者名簿ご参照のうえ、「選定欄」に○印を付けてください。ただし、これらの候補者以外の会員(正会員に限る)を選定される場合は、それぞれの区分の空欄に氏名、所属をご記入ください。

### 記

1. 別送の投票用紙(返信はがき)の選定欄に○印をおつけください。
2. 副会長は1名の単記、理事は、業務担当では〔教育〕、〔研究〕、〔利用〕は各分野別に1名の単記、〔製造・販売〕分野は2名以内の連記とし、編集担当では〔教育/研究〕、〔分野不問〕の各分野別に2名以内の連記、監事は1名の単記とします。これをこえた場合には無効となりますので、ご注意ください。
3. 改選定数は、副会長1名、理事9名、監事1名です。
4. 投票の締切は平成2年3月5日(月)の郵便消印があるものまで有効といたします。
5. 投票用紙(はがき)は料金受取人払ですから、切手を貼付する必要はありません。
6. 投票用紙記載の候補者は50音順です。
7. 1月12日現在で本年度会費未納者には投票用紙は送付いたしません。

## 平成2年度役員改選候補者名簿

(五十音順)

(平成2年1月末現在)

役職名	候補者氏名	出身学校 卒業年次 (昭和)	勤務先および役職名	略歴・専門分野等	
副会長	石田 晴久	東大 34	東京大学大型計算機センター教授	MIT, 電通大を経て現職。元学会理事、マイコン研究会主査、編集委員。分散処理を研究	
	長尾 真	京大 34	京都大学工学部教授	学会理事2回、計算言語学研究会委員長。自然言語処理・機械翻訳・パターン情報処理等	
理事 (業務担当)	〔教育〕	雨宮 真人	九大 42	九州大学大学院総合理工学研究科教授	NTT 通研を経て現職。元学会誌編集委員、研究会幹事。並列処理、AI システムを研究中
		高木 幹雄	東大 35	東京大学生産技術研究所教授	デジタル画像処理。リモートセンシングも研究中
		田中 穂積	東工大 39	東京工業大学工学部教授	人工知能、自然言語処理を研究中。電総研を経て現職。研究会幹事
	〔研究〕	木村 幸男	東大 38	鉄道総合技術研究所情報・制御システム研究室長	卒業年鉄研入所。元学会規格小委員会委員、研究会幹事。計算機の鉄道への応用を研究
		村岡 洋一	早大 40	早稲田大学理工学部教授	電電公社通研を経て現職。元学会論文誌編集委員。並列処理、電子化図書等を研究中
		弓場 敏嗣	神戸大 39	電子技術総合研究所知能システム部長・筑波大学併任教授	野村総研を経て現職。元学会誌編集委員、論文査読委員。並列処理、知能システムに興味
〔製造・販売〕	鍵谷 誠一	京大 38	東洋情報システム大阪本社応用技術システム開発第一部長	日立造船を経て現職。現在本会関西支部幹事。AI・CAD・CASE・DSS 等に関心	
	西 和彦	早大中退 (50入学)	アスキー代表取締役社長	早大在学中に(株)アスキーを設立。パソコンの出版、ソフト、半導体、ネットワークを事業化	
	二井 恒仁朗	慶大 38	日本タイムシェア取締役副社長	日興証券電算室を経て昭42年 NTS を設立現職。ソフトウェア開発管理のシステム開発中	
	山本 晃司	阪大 39	日立製作所ソフトウェア工場副工場長	元学会規格委員会 SC16 専門委員、WG5 主査。大型 OS、DB/DC ソフトウェアの開発を担当	

役職名	候補者氏名	出身学校 卒業年次 (昭和)	勤務先および役職名	略歴・専門分野等	
理事 (業務担当)	(利)	岩丸良明	慶大 47	三井銀総合研究所システム・コンサルティング部金融システム室長	三井銀行にてシステム企画・開発担当を経て現職。元研究会幹事。情報システムを研究中 学会国際委員、元学会誌・欧文誌編集委員。ISDN, OSI 等情報通信の研究に従事 大規模 SI のマネージャを歴任し現職。コンピュータネットワークの管理方式を研究中
	(用)	小野欽司	東大 37	KDD 上福岡研究所長	
		杉山元伸	阪大 41	NTT データ通信ネットワーク事業部長	
理事 (編集担当)	(教育/研究)	伊藤貴康	京大 37	東北大学工学部教授	ソフトウェア基礎理論, 人工知能基礎論, 並列処理(理論・ソフト・システム)を研究 昭 38 電総研入所。元学会誌編集委員, 論文査読委員, ソフトウェアと情報科学を研究中 元学会誌ならびに論文誌編集委員。オブジェクト指向計算, 分散システムを研究 東大, 電通大を経て現職。元学会誌, 論文誌編集委員, 研究会主査。数値解析学を研究中
		田村浩一郎	東大 38	電子技術総合研究所情報科学部長	
		所真理雄	慶大 45	慶応義塾大学理工学部助教授	
		名取亮	東大 39	筑波大学電子・情報工学系教授	
	(分野不問)	佐藤繁	東大 33	富士通研究所取締役	
		白井克彦	早大 38	早稲田大学理工学部教授	
		春原猛	東教大 40	三菱電機技術管理部ソフトウェアグループマネージャ	
		発田弘	東大 38	日本電気情報処理製品計画本部長	
監事		近谷英昭	東大 34	東京電機大学理工学部教授	鉄研を経て現職。元学会理事, 現調査研究運営委一号委員。専門データベースシステム イリノイ大 Ph.D. 米国 IBM での SNA 開発を経て画像や通信を含む情報処理製品開発
		安井敏雄	京大 41	日本アイ・ビー・エム大和研究所長	

## 〔参 考〕

## 平成 2 年度留任役員名簿

役職名	氏名	勤務先
会長	三浦武雄	日立
副会長	戸田巖	N T T
理事	市川照久	三菱
理事	上村務	日本 IBM
理事	上林彌彦	九大
理事	竹井大輔	鉄道情報システム
理事	千葉常世	日立
理事	苗村憲司	N T T
理事	益田隆司	東大
理事	横井俊夫	日本電子化辞書研
監事	渡部和	日電

## 退任役員名簿

役職名	氏名	勤務先
副会長	野口正一	東北大
理事	池田克夫	京大
理事	板倉征男	NTT データ通信
理事	遠藤誠	日立
理事	白井良明	阪大
理事	堂下修司	京大
理事	三木彬生	鉄道総研
理事	村井真一	三菱
理事	矢島敬	東理
理事	山田昭彦	日電
監事	澁谷多喜夫	富士通

## ◆ 研究発表会開催予定 (1990年4月～1991年3月)

(研究会名)

(開催日・会場)

自然言語処理	5月18日(金) NTT横須賀 7月19日(木)・20日(金) 北大 9月21日(金) 新潟大 11月16日(金) 筑波大 1月18日(金) 九大 3月15日(金) 京大
データベース・システム	5月17日(木) 電総研 7月19日(木)・20日(金) 北大 9月7日(金) 機・6 F67 11月8日(木)・9日(金) ICOT 1月17日(木) 名大 3月 機
人工知能 (知識工学と人工知能)	5月9日(水)・10日(木) 機・B 3-2 7月12日(木)・13日(金) 北海道(ワークショップ) 9月12日(水)・13日(木) 日立 基礎研 11月8日(木)・9日(金) ICOT 1月30日(水)・31日(木) 京都 3月13日(水)・14日(木) 機
記号処理	6月4日(月) 津田塾大 9月28日(金) 機・6 F67 11月22日(木) 山形大または小樽商大 1月 東大 3月11日(月) NTT通研
ソフトウェア工学	5月29日(火) 機・B 3-2 7月20日(金) 弘前大 9月11日(火) 機・B 3-2 11月13日(火) 機・B 3-2 12月4日(火) 機・B 3-2 2月7日(木)・8日(金) 地方
マイクロコンピュータと ワークステーション	4月20日(金) 機・B 3-9 5月23日(水) 機・B 3-9 6月22日(金) 機・B 3-2 10月12日(金) 地方 11月30日(金) 機・B 3-1 2月1日(金) 機
計算機アーキテクチャ	4月20日(金)・21日(土) 高知大 7月18日(水) 沖繩 9月28日(金) 機・6 F67 11月 鳥取 1月 京都 3月 機
オペレーティング・システム	6月8日(金) 機・B 3-2 9月7日(金) 機・B 3-2 12月7日(金) 機・6 F65 3月15日(金)・16日(土) 地方
コンピュータビジョン	5月17日(木) 名大 7月19日(木) NTT武蔵野 9月20日(木) 群大 11月22日(木) 東大・生研 1月24日(木)・25日(金) ATR 3月28日(木) 機
設計自動化	5月22日(火) 機・B 3-1 7月10日(火) 機・6 F67 10月8日(月)・9日(火) 阪大 12月11日(火)・12日(水) 機・6 F67 2月12日(火) 機

マルチメディア通信と分散処理	5月18日(金) 鹿児島大 7月12日(木) 機・B3-2 9月20日(木) 機・6F67 1月24日(木) 機・6F65 3月7日(木) 機
ヒューマンインタフェース	5月10日(木) 機・B3-1 7月5日(木) 機・B3-2 9月12日(水) 機・B3-2 11月1日(木) 機・B3-2 1月17日(木) 機・B3-2 3月8日(金) 北海学園大
グラフィクスとCAD	5月18日(金) 機・B3-2 7月20日(金) 機・B3-2 8月17日(金)・18日(土) 浜松(集中研究) 10月19日(金) 京大 12月14日(金) 機・6F67 2月22日(金) 富士通
数値解析	7月6日(金) 機・B3-2 10月6日(土) 地方 12月7日(金) 機・B3-1 3月中旬 機
ソフトウェア基礎論	5月24日(木) 名大 9月21日(金) NTT武蔵野 12月14日(金) 機・6F65 3月8日(金) 機
情報システム	5月15日(火) 工学院大 7月17日(火) 機・B3-2 10月16日(火) 機・B3-2 1月16日(水) 機・B3-2 3月19日(火) 機
プログラミング言語	6月8日(金) 機・B3-1 9月7日(金) 機・6F67 12月14日(金) 機・6F65 2月上旬 地方
情報学基礎	5月28日(月) 機・B3-2 7月10日(火) 機・B3-1 10月23日(火) 機・B3-2 12月18日(火) 機・B3-2
コンピュータと教育	4月25日(水)・26日(木) 機・B2ホール 5月17日(木) 機・B3-2 9月20日(木) 東京 11月15日(木) 機・B3-2 1月17日(木) 機・B3-1
アルゴリズム	5月17日(木) 農工大 7月16日(月) 北大 9月28日(金) 東北大 11月22日(木) 日立 中研 1月 阪大 3月 機
人文科学とコンピュータ	5月11日(金) 千里国際情報セミナールーム 9月14日(金) 歴博 11月30日(金) 佐賀 3月8日(金) 学術情報センター

注) 機-機械振興会館

\* 各研究会に発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(本欄末添付)を事務局研究会係までご送付ください。

年 月 日

研究会発表申込書 (様式 4)

太線枠内のみご記入ください。

研究会名	研究会									
発表希望の 研究会開催日	年 月 日 ( )									
タイトル										
発表者名 (略称所属)										
概要 (50 字以内)										
発表申込者住所	〒			Tel.			— (内線) —			
氏 名										

年 月 日受付

研究会名      資料 No.      開催日      幹事送付済み      その他

		年 月 日		
--	--	-------	--	--

## 研究発表会・シンポジウム論文原稿執筆要領

社団法人 情報処理学会

1. (目的) 研究発表会資料およびシンポジウム論文集は、研究内容等の発表資料として用いるほか、来聴できない研究会登録会員等に講演内容を知らせる役割ももっていますので、それだけ読めば研究の目的、考え方、手法および結論が理解できるように配慮してください。
2. (ページ数) 原稿の長さは各研究会所定のページ数(       ページ )以内とし、止むを得ず超過する場合は各主査または担当幹事の承認を求めてください。
3. (原稿用紙) 研究発表会資料およびシンポジウム論文集は、経費節約とミスプリント防止のため、オフセット印刷にしています。A4判原稿は寸法比約85%に、B4判原稿は約70%に、それぞれB5判の大きさに縮写、印刷しますので、製本された場合の読みやすさについてご注意ください。
4. 原稿は、ワープロ等を用いて、活字体で作成してください。なお、オフセット印刷ですので、印字品質にご配慮ください。  
原稿を手書きで作成される場合には、原稿用紙を学会研究会、シンポジウムの各係へご請求ください。
5. ワープロ等で原稿を作成される場合、次の例を一つの目安としてください。ただしこの例は、活字を約10.5ポイント(約3.5mm角)とした場合を想定しています。一般に字の大きさと不釣合に行間を詰めると大変読みにくくなりますので、ご注意ください。
  - (1) A4判      1段組の場合 46字×40行  
                 2段組    "    22字×40行×2段
  - (2) B4判      1段組の場合 50字×40行  
                 2段組    "    24字×40行×2段
  - (3) 1ページ目の様式、および上下左右(各25mm程度)の空け方は、添付の記入用例を参考にしてください。
  - (4) 2段組の場合、段間は2文字空き程度が適当です。
6. (図・表・写真) 図および表は、原稿用紙の最も適当な位置に原則として直接記入してください。幅いっぱいにならない図・表は左側または右側に寄せて、反対側の余白は本文に利用してください。図・表はトレーシングペーパー等にも書いても結構ですが、その場合は、図・表の入る余白を取って、その箇所に図・表の上部のみ、しっかりと糊付け(ペーパーセメント、両面粘着テープが望ましい。セロテープは不可)してください。写真も同様です。なお、図等は、縮小したとき見にくくならないようにご留意願います。
7. (締切期日・提出日) 原稿は       月      日 ( ) までに着くよう、データシート(学術情報センター提出用、シンポジウムは不要)と一緒に下記あて提出してください。提出期限に遅れますと研究発表会またはシンポジウムの資料に掲載できなくなりますのでご注意ください。
8. (原稿の返却) 申込みにより返却いたします。

(提出先) 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2  
社団法人 情報処理学会  
研究会発表論文                      研究会係  
シンポジウム発表論文              シンポジウム係  
Tel. 03 (505) 0505

## 「第 19 回 数値解析シンポジウム」のお知らせ

今年度のシンポジウムは下記のとおり開催いたします。奮ってご参加ください。今回も例年どおり幅広い分野からの講演申込をお待ちしております。

参加を希望される方は平成 2 年 4 月 10 日（火）までにお申し込みください。講演をする方は予稿集の原稿（A 4 判 4 枚程度）を 4 月 30 日までにお送りください。

### 記

会 場：国民宿舎 鹿野山センター  
千葉県君津市鹿野山 467-1  
Tel. 0439 (37) 2245

期 日：平成 2 年 6 月 12 日（火）～14 日（木）

費 用：15,000 円

第 19 回 数値解析シンポジウム申込書			
氏 名		所 属	
連 絡 先	〒 Tel.		FAX.
講 演	する	しない	講 演 者 名
講 演 題 目			
概 要			
申 込 先	〒305 つくば市天王台 筑波大学 電子・情報工学系 名取 亮 FAX. 0298 (53) 5206		



## 学術奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、学術奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る3月14日～16日に早稲田大学・理工学部で開催される第40回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第40回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は学術奨励賞委員会（委員長 戸田副会長）で行い、その発表と表彰は本年9月に開催の第41回全国大会（東北大学）時に行われる予定です。

### 記

#### 選定範囲および推薦数

第40回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

**推薦資格** 本学会正会員に限る。

**推薦方法** 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校（学部）卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をのりなくご記入のうえ、本会学術奨励賞係あてお送りください。

**推薦締切** 平成2年3月31日（当日消印有効）

### 表彰規程(抜粋)

#### 第5章 学術奨励賞

第19条 学術奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 学術奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 学術奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 学術奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1名につき20,000円とする。

## 情報処理学会 創立 30 周年記念 第 40 回 全国大会 (平成 2 年前期) 参加について

- 開催期日** 平成 2 年 3 月 13 日(火)~16 日(金)  
「記念講演会」
- 会場** 平成 2 年 3 月 13 日(火)  
早稲田大学大隈講堂 (新宿区早稲田 1-6-1)
- 参加費** 無 料  
「第 40 回全国大会」
- 会場** 平成 2 年 3 月 14 日(火)~16 日(金)  
早稲田大学理工学部 (新宿区大久保 3-4-1)
- プログラム** 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場などはプログラム末尾の会場案内図を参照してください。

### 一般参加の方へ

1. **総受付** 52 号館 1 階ロビー
2. **参加費** 会 員 1,000 円 (賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます.)  
非会員 2,000 円 (ただし電気, 電子情報通信, 照明, テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。会員番号を申し出てください。)
3. **論文集** 定 価 6,000 円 (予約は締切りました。)  
(当日, 予約者以外にお頒けできるのは, 残部のある場合に限りです。)

◎ 参加される方は, 受付にて参加費を納め, 参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

### 一般講演を行う方へ

1. 講演者は, 講演の始まる前に, 必ず各セッション会場前の講演者受付で, 出席の確認を受けてください。
2. 講演者は, 前の講演者の講演時間中に, 座長席の近くに設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は, 質疑を含めて, 15 分を原則とします (都合により 13 分のセッションもあります)。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。

~~~~~

**学術奨励賞の表彰** 大会 2 日目 (14 日) 午前に第 39 回 全国大会学術奨励賞受賞者の表彰を A 会場で行います。

### (その他の一般注意)

1. 食堂, 休憩室などはプログラムの会場案内図等を参照のこと。
  2. 電話の呼び出しはいたしません。
  3. 駐車場がないので, 自家用車による参加はできません。
- ~~~~~

## 「コンピュータビジョン '90」シンポジウム論文募集 ～ビジョンと環境理解～

人間にとって最も大規模な情報処理と言われる視覚処理の解明と、そのコンピュータ化を目指すコンピュータビジョンの研究は、コンピュータパワーの増大と共にますます活発化しています。

本シンポジウムは、これらの研究発表と議論、さらに今後の研究動向を模索するための場を提供するものです。研究発表は招待講演（2件）と一般講演（約25件）から構成される予定です。ビジョンの基礎から応用に至る、先端的な研究論文を募集しますので奮ってご応募をお願いします。

**日 時** 1990年8月22日(水)～23日(木) 9:00～17:00

**場 所** 筑波大学大学会館特別会議室

**参加費** 正会員 10,000円, 学生会員 1,500円, 非会員 15,000円

**トピックス** 例えば下記のようなビジョン関連テーマ

- ヒューマンビジョン／視覚のモデル化, 認識機構の計算理論, ニューロモデル
- 画像の記述／エッジ・線・面抽出, セグメンテーション
- ビジョンアルゴリズム／動画像・カラー画像・3D解析
- 環境理解／ロボット視覚, 情景理解, 線画理解
- アーキテクチャ／プロセサ, LSI, 画像理解戦略
- ビジョンシステム／エキスパートビジョン, 応用システム

**スケジュール** (1) 論文概要(和文 A4判1枚:1000～1500字程度)に氏名・所属・連絡先を明記し, 5月8日(火)までに下記にお申し込みください。  
(2) 採択, 不採択は6月15日(金)までに通知します。  
(3) 採択の方についてはカメラレディの論文原稿(本学会研究会原稿用紙10頁以内)を7月16日(月)までに提出していただきます。なお, 論文には実費著者負担でカラーページの使用が可能です。

**申込先** 106 港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505  
情報処理学会 コンピュータビジョン '90 シンポジウム係

**問合せ先** 上記学会事務局またはコンピュータビジョン研究会

主 査 鳥脇純一郎(名大) 052 (781) 5111 (3308)

幹 事 大田友一(筑波大) 0298 (53) 5187 田島譲二(日電) 044 (856) 2145

## 論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊) および欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING”(略称 JIP・季刊) は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は前号 157 ページにあります。

| 年間購読料 | 会 員     | 非 会 員                |
|-------|---------|----------------------|
| 論 文 誌 | 4,500 円 | 7,800 円              |
| 欧 文 誌 | 3,000 円 | 6,000 円 (海外 7,000 円) |

平成 年 月 日

### 論文誌・欧文誌購読申込書

下記より購読を申込みます。(該当欄を○で囲む) 会員 No. \_\_\_\_\_

1. 氏 名 \_\_\_\_\_ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 \_\_\_\_\_)

Tel. \_\_\_\_\_

送本先 (〒 \_\_\_\_\_)

注) 会員には学会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_ 号から送本希望)

b. 欧文誌“Journal of INFORMATION PROCESSING”(\_\_\_\_ 巻 \_\_\_\_ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ \_\_\_\_\_ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日)

a. 現金書留    b. 郵便振替    c. 銀行振込 (\_\_\_\_ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

## 支部だより

### 中部支部 講演会

日時 平成2年2月21日(水) 13:30~15:30  
会場 信州大学工学部 103番教室(長野市若里500)  
演題 知識ベースシステムの考え方と方法  
参加費 無料(参加資格は問いません)  
問合せ先 情報処理学会中部支部 Tel. 052(204)4517

上野 晴樹(電機大)

日時 平成2年3月6日(火) 14:00~16:00  
会場 中部電力(株)本店 中電ビル本館5階 5-1会議室(名古屋市東区東新町1)  
演題 OS/2の概要と今後の展望  
参加費 無料(参加資格は問いません)  
問合せ先 情報処理学会中部支部 Tel. 052(204)4517

岡崎 正一(三菱電機)

\*講演会終了後(16:00~17:00), 中央給電指令所の見学会を実施します。

## 論文誌, 欧文誌の購読のおすすめ

「論文誌」(月刊)および「欧文誌」(季刊)は有料頒布です。まだ購読されていない会員は平成2年度から購読されることをお勧めします。新規購読希望の方はその旨会費納入の振替用紙通信欄にご記入くださるか, 本欄添付の購読申込書によりお申込みください。

## 本会協賛等の行事案内\*

第7回「センシングフォーラム」

平成2年4月5日(木)~6日(金)

東京・学士会館本館

\* 詳細は本号会議案内欄参照